

Title: I'm here!



清水 香季江
長い長い学生生活最後の一大イベントです。色々な世界を見てみたいです。

● 最近のエントリー

サルガド氏ワークショップ
(2011.11.28)

● アーカイブ

- 2012年03月
- 2011年11月
- 2011年10月
- 2011年09月
- 2011年08月
- 2011年07月
- 2011年06月
- 2011年05月
- 2011年04月
- 2011年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリ一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

I'm here! > 2011年11月 アーカイブ

11.11.28

サルガド氏ワークショップ

[Tweet](#)[Check](#)

ご無沙汰しています、清水です。
もうすぐ12月。
2011年も残りわずかとなってきました。
1年って、ほんととあっという間ですね。
アジアの国々を回っていたのがもう随分と前のように感じます。

さてさて、

先週21日から25日までの5日間、本校の特別名譽顧問である写真家セバスチャン・サルガド氏と、彼の写真集のデザインなどを長年努めている夫人のレリア・サルガド氏によるワークショップが本校にて開催されました。これは2年に一度行われているもので、これまでフィールドワークコース対象のワークショップでした。ちょうど2年前という私は休学していたためこのワークショップを受講することができず、他の6期生のメンバーがワークショップも思い出を話すのをいつも羨ましく聞いていました。

今年からはこれまでと形態を変え、受講生は学内コンペで選ばれることになりました。ワークショップの内容も、これまでワークショップ用にテーマを与えられて作品を撮ってくる形だったものから、各自のテーマ作品を持って来て講評してもらう形になりました。

世界的な写真家に自分の作品を見てもらうなんて、またとないチャンス。
早速コンペに応募し、無事、サルガド氏に見てもらえることになりました。

一日目は、ワークショップに参加する人がそれぞれの自己紹介をしました。自分の生い立ち、写真を撮る理由、などなど。サルガド氏は、その人の背景を理解した上で作品を見ていくんだそうです。サルガド氏が何より大切にしていることは、「尊敬」。相手を知り、歩み寄ることでより深い理解をしようとするのです。初対面では決して言わないであろうその人の核となる部分まで、みんな正直に話しました。

今回は夜間部の生徒が大半で、平均年齢も高く、皆様々な経験を経てこの学校に入ってきた人たちが中心でした。とにかく、写真に対するモチベーションが高い。2日目、3日目は写真のそれぞれの作品の講評をしたのですがみんなきちんと自分の作品をプレゼンし、分からないことは積極的に質問していました。そして、みんな写真がうまい。見せられる写真が撮れた上で、自分のテーマを追求している人がほとんどで、びっくりしました。自分のできる重さを痛感させられるには十分でした。このワークショップでは同じ参加者から学ぶことが多くありました。

もちろん、サルガド氏とレリア氏からは、言うまでもなく素晴らしい教えをたくさん頂きました。美しい構図とプリントを追求する、このことはもちろんのこと、写真家として、人間として、あるべき姿勢をサルガド氏から学びました。彼は私の写真を見て、「ニューワールドだ」と言いました。美しいドキュメンタリー写真を撮って来た彼にとって、私のようなタイプの写真はあまりなじみがなかったようです。しかし、先日あったパリアフォトを期に、所謂コンセプチュアルな写真にも理解が持てるようになったそうです。今年は玉座をいくドキュメンタリー写真とは別に、コンセプチュアルな作品を撮ってきた人が多く、そのすべてに彼は新しい世代の写真を見ていたようです。

最後に彼は、「今回は私も学ぶことが多かった」と言いました。彼は常に学ぶ姿勢を忘れず、まだひよこの私たちからも色々なことを学び取ろうとしたのです。世界的な写真家である彼でさえそうなのですから、若い私たちが学ぶことをおろそかにしてはいけません。改めて、写真家であるための心がけと責任を考えさせられました。

参加者はみんな、「この5日間は夢のようだった」と口を揃えてそういっていました。本当にそうです。今回、ワークショップに参加できて、本当に、本当に、よかったです。





作品講評。この中から写真集に収める写真が選ばれます。一人5枚から多い人で10枚以上。
写真集の質を上げるために、良い写真のみを選びました。
学生といえど、レベルに達しない作品は写真集全体の質を落とすので入れられない。
彼らが真剣に私たちの作品を見てくださっていることに感動しました。

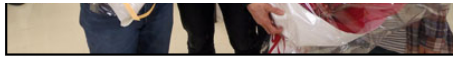


講評時に選ばれた写真を並べて写真集のレイアウトを考えます。
デザイナーであるレリア氏が講義を担当しました。



サルガード氏の写真集を使ってレイアウトの例を説明するレリア氏。





サルガド氏、レリア夫人と。

カテゴリ:

post by 清水 希宗江 | 日時: 2011.11.28 | [パームリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)